

[第682回 ラジオ大阪番組審議会議事録]

1. 開催日時 令和7年11月12日(水) 午後2時00分～3時00分

2. 開催場所 ラジオ大阪 大会議室

3. 委員の出欠 委員の総数 5名

出席の総数 5名

出席委員の氏名 成瀬 國晴 河内 厚郎
岸 本 佳子
鎌田 雅子(書面参加)
鳴海 勝(書面参加)

放送事業者側出席者の氏名

上野 慶子 志知 直哉
原田 年晴

4. 議題

1) 番組審議 『原田年晴 かぶりつきサーズデー!』

2) その他

5. 議事の概要

議題1) 『原田年晴 かぶりつきサーズデー!』について、番組の企画意図と内容を説明し、審議に入った。

社側 原田年晴アナウンサーの機動力をフル稼働し、時事ネタから健康、ご近所ネタ、旅、グルメなど様々な情報を“かぶりつき”でお送りする約3時間です。お得意の旅やグルメ、そして日々の生活情報をどこまでもわかりやすく、丁寧お届けする、どこまでもリスナーの生活にずっと寄り添う役立つラジオです。ベテランの原田アナのアシスタントを務めるのは清水綾音です。少々奔放な発言も飛び出す原田アナにしっかりとツッコミをいれつつ、大ファンである社会人野球を語るコーナーも担当。

委員 原田さんのトーク力があってだが、原田さんに対する清水さんの何気ない相槌が、リスナーをさらにその話題に入り込ませる効果があるように感じた。ちょうどよいスパイスになっていると思う。元阪神タイガースの能見さんとのトークは、野球に興味がない私でも、面白くなり聴くことができた。「プロより社会人野球には二度と戻りたくない」という本音を聞き出せたのも面白かった。ただ、一般の方が能見さんのことを認識している前提で進んでいったように感じた。最初におおまかな紹介があればよかった。

委員 オープニングは、高知県への番組ツアーのお話だったが、旅レポ、食レポが得意な原田アナの良さが光った。カツオの薫焼きの様子やお座敷遊びの様子は、聴いていても情景が目目に浮かび、さすがだと感じた。「かぶりつきジャーナル」では、話題の選び方がうまく、特に、万博のリングの資材が、能登半島地震の被災地の復興公営住宅に使われるという話題は興味深かった。万博の未使用チケットを松原市が地元のイベントで使える金券に変えるという話も、時流をとらえた良いテーマだと思う。

委員 「かぶりつきジャーナル」でまず取り上げられたのは、日銀短観に関する経済ニュース。「そもそも日銀短観とはなにか」を非常に丁寧に解説されていて、経済ニュースに縁遠い人にもわかりやすかったと思う。原田アナウンサーのかみ砕いた解説に、清水さんの合いの手も、明るいが節度があってリスナーの理解を助けるようなもので、非常に好感を持った。原田さんと清水さんのお2人が、終始、リスナーに寄り添った姿勢で、わかりやすく、節度をもって語り続ける様子に、感銘を受けた。

委員 『原田探偵局』には、白井松次郎・曾我廼家五郎・曾我廼家十吾・渋谷天外・浪花千栄子といった往年の有名人の名前が登場し私は興味深く聴いたが、50代の聴取者はどこまでピンとくるだろうか。松竹新喜劇のネーミングに関わる話なので、若干の説明がほしい。松竹に関する話題では、来年5月に道頓堀の松竹座が廃館になるという話でもちきりなので、この番組でも一度取り上げてほしい。

委員 なかなか社会人野球を取り上げるメディアも少ない中、長年の阪神ファンである私の視点、原田さん、清水さんの視点、それぞれ違うが、そこにあるのは社会人野球というものを、みんなに知って欲しい、しかもタイムリーにこの時期にというもので、それが非常によかった。「原田探偵局」もタイムリーなネタでよかった。原田さん自身が現場に行って、関係者に話を聞き、結局答えは出なかったがこれは問題ない。まず原田さん自身の足で稼いでいるというのがミソだ。これからも楽しみに聴きたい。

社 側

貴重なご意見、ありがとうございました。

以上

6. 審議会の答申又は改善意見に対してとった措置および年月日
な し

7. 審議会の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容・方法及び年月日

- ・「番組審議会だより」 （第682回ラジオ大阪番組審議会議事録の要約）

「ラジオ大阪番組審議会レポート」 内で放送

放送日 令和7年12月21日（日）6時10分～6時15分

- ・「番組審議会だより」 （第682回ラジオ大阪番組審議会議事録）
ラジオ大阪ホームページ（<http://www.obc1314.co.jp>）に掲載
- ・ 番組審議会の議事録の原本は事務局立ち会いのもと閲覧に応じる。

8. その他の参考事項

訂正放送または取り消しの放送の請求及び請求に対しての措置が無い旨を報告。

以上